



東亞道路工業

東亜道路工業が20～23日の4日間、入社3年目の社員を対象に研修を行った。全国の事業所から41人が参加。2日目からは埼玉県秩

員の思考力や発想力
るつつ、モチベーション
ップで定着を図る。

として社力をした。秩父市への移動は、西武鉄道が運行する4両編成で定員52人の観光列車「52席の至福」を貸し切つゝこれまでた。

秩父市で入社3年目研修

夕市にある地場産業センターで課題に取り組んだ。どうすれば秩父地域に人を呼び込み、新たなにぎわいにつなげられるかを、グループに分かれて議論。結果を

て東京都渋谷区の本社で行っていた。今回初めて自治体から連携し本社以外で実施。西武鉄道や秩父地域おもてなし観光公社、秩父市役所、秩父札所連合会が協

「研修では移住市など魅力ある地域に根差した公園の開発」や「住む人と訪れる人が豊かさを共有できる道路（街）の提案」を含めた四つの課題を提示。

地域の課題解決へ議論

社員は取り組みたいテーマを選び、現地視察や意見交換、発表などを行った。
22日には清野和彦市長が研修会場を訪れた。「秩父は課題が多い地域だ。少子高齢化のスピードが埼玉県の平均よりも15年早い。私たちが新しいアクションをすること」が県全体、ひいては全国の過疎地にとって役に立つはずだ。皆さまの立場から携わっていただいたことに心から感謝申し上げる」と述べた。